

2020年10月  
No.20-154a(全)※1

## 「RAS-BRAF 遺伝子変異解析」 適用拡大のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目につきましては、組織から抽出したゲノムDNA中のRAS(KRAS及びNRAS)遺伝子変異の検出(セツキシマブ又はパニツムマブ)の結腸・直腸癌患者への適応判定の補助検査として適用されておりました。この度、添付文書が改訂され、大腸癌における化学療法の実施の補助を目的としても使用できることとなりました。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目/追加された使用目的

##### ●[1251] RAS-BRAF 遺伝子変異解析

(使用目的)

癌組織から抽出したゲノム DNA 中の RAS(KRAS 及び NRAS)遺伝子変異の検出(セツキシマブ(遺伝子組換え)又はパニツムマブ(遺伝子組換え)の結腸・直腸癌患者への適応判定の補助、大腸癌における化学療法の実施の補助)

※下線部が追加されました。

#### ■適用開始日

●本案内以降、大腸癌における化学療法の実施の補助としてご利用いただけます。

以上